

令和07年度 第4回 浅草警察署協議会 議事概要

開催日時 令和08年03月27日 午後04時00分～午後05時10分

開催場所	浅草警察署 署長室	出席者	協議会委員 9名 署長ほか 2名
------	-----------	-----	---------------------

内 容

会議に先立ち、委員からの質疑に対応するため、会議の途中から交通課長が同席することについて各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 交通人身事故の発生状況
 - (1) 発生件数
総数、死傷者数のいずれも減少（前年同期比）
 - (2) 関与率
依然として高齢者、自転車の関与率が突出して高い
 - (3) 発生場所
浅草寺を囲む幹線道路である言問通り、国道6号線、国際通りで多く発生
- 2 浅草寺初詣警備実施結果
 - (1) 人出は、延べ300万人であり、前年比プラス2万人、令和になってから最多人数（主催者発表）
 - (2) 早期から主催者や関係機関と雑踏事故防止対策を共同推進し、期間中は機動隊の応援を得て、最大限の警備体制で積極的な現場広報活動と臨機応変な警備措置により事故なく完遂した。
- 3 管内治安の状況
 - (1) 地域警察活動
増加する110番通報への対応と不要不急の通報を減少させるための広報活動
 - (2) 犯罪情勢
犯罪の認知と検挙事例

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
自転車交通対策について
 - (1) 自転車に対する交通反則通告制度について
 - ア 導入の背景
(ア) 自転車に関与する交通事故の多発を受け、自転車利用者の安全利用を促し、交通事故を減少させるため、自転車交通違反の指導取締りを強化している。
(イ) 指導取締りの処理を迅速に行うことにより、自転車交通違反者への責任追及を効果的に行うことで、自転車に関与する事故を抑止していく。
 - イ 浅草署の取組
(ア) 警察官が自転車の交通違反を認知した場合、基本的には現場において指導警告を行う。
(イ) 認知した違反が交通事故の原因と直結するような危険性・迷惑性が高い違反については、青切符による取締りを行う。
(ウ) 酒気帯び運転など、特に悪質危険な違反の場合は、赤切符が適用され、免許保有者については運転免許停止になる場合もある。
(エ) 浅草署管内の交通人身事故の半数以上が自転車関与である情勢を踏まえ、引き続き、自転車に対する指導警告、取締りを強化推進していく。
 - (2) 春の全国交通安全運動について
 - ア 区内施設においてタレントを浅草署一日警察署長として招き、「交通安全のつどい」を開催し、交通安全教育等を行う。
 - イ 交通事故関与率が高い自転車と高齢者に対し、広報啓発及び指導取締りを強化すると共に、街頭配置等を通して拳署一体で自転車交通対策を推進していく。
- 2 協議会からの意見要望等
 - (1) 若い人は自動車を運転する機会が少ないため違反の知識に乏しいが、情報発信は早いので、やりがちな違反を動画で広報して、拡散、周知につなげてほしい。
 - (2) 制度の方向性と日常の現実とのギャップに園児送り迎えの保護者たちが困惑している。自転車が車両という認識がまだ浅いので、反則通告制度によりその意識が変

- わる機会になるかも知れない。報道だけだと情報が不十分なので、保護者を集めて勉強会の場を設定してほしい。
- (3) 自転車の二段階右折はほとんど知られておらず、特に高齢者はなじみのないことを受け入れ難い。急な方向変換、フラつき防止を啓発する研修の機会を含め周知方法には工夫が必要。
 - (4) 長期的視野で安全意識を高める意味では、反則通告制度は子供の教育上、良い施策。努力義務であるヘルメット着用も、児童にはしっかり指導してもらいたい。
 - (5) デリバリーの自転車の運転が乱暴で危険。業務で自転車を利用している人への安全運転管理の在り方にメスを入れてほしい。
 - (6) 浅草は多言語の観光歩行者が非常に多い街。事故を減らす目的であれば、自転車の歩道通行について現場に即した具体的広報をし、観光客への周知も必要。車道も路上駐車等が自転車事故の誘因にもなるので、行政と協働でインフラ整備が必要。
 - (7) 自転車の安全運転は全国共通のテーマであり、それぞれが今、どう対応すれば良いか迷っていると思う。各協議会委員が地域に持ち帰って議論を展開し、言葉を交わして、繰り返し警察とも協議していく必要がある。

[その他の意見要望等]

なし

その他

令和07年度 第3回 浅草警察署協議会 議事概要

開催日時 令和07年12月18日 午後04時00分～午後05時10分

開催場所	浅草警察署 講堂	出席者	協議会委員 9名 署長ほか 1名
------	----------	-----	---------------------

内 容

[業務説明]

- 1 拾得（遺失）物の取扱状況
 - (1) 取扱件数
拾得物、遺失物、返還手続のいずれも減少（前年同期比）
 - (2) 取扱減少の要因
遺失物取扱いの減少はオンラインによる電子申請の浸透、返還手続の減少は外国人が所有する海外製の調査不能物件の増加による。
- 2 交通人身事故の発生状況
 - (1) 発生件数
総数、死傷者数のいずれも減少（前年同期比）
 - (2) 関与率
依然として自転車、高齢者の関与率が突出して高い。
 - (3) 発生場所
浅草寺を囲む幹線道路である国際通り、馬道通り、言問通りで多く発生
- 3 西の市警備実施結果
 - (1) 人出は、延べ8万2,000人であり、前年比プラス3万5,000人、令和になってから二番目に多い数（主催者発表）
 - (2) 早期から主催者との雑踏事故防止対策を共同推進し、当日は機動隊の応援を得て最大限の警備体制で積極的な現場広報活動と警備措置により事故なく完遂した。
- 4 管内治安の状況
 - (1) 地域警察活動
増加する110番通報への対応と検挙事例
 - (2) 犯罪情勢
犯罪の認知と検挙事例

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
特殊詐欺対策について
 - (1) 浅草署管内における被害状況
 - ア アポ電の入電件数の増加に対して被害件数が減少している状況があるが、積極的な広報啓発により特殊詐欺の手口が周知され、アポ電が架かってきた段階で住民が詐欺と見破ることができている結果と思料される。
 - イ 警察官をかたる手口では、捜査への協力依頼や犯罪への関与を調べる等の名目で口座内の残高を指定する口座へ全額送金させる手口が増えており、被害金額が激増している。
 - (2) 被害防止対策
 - ア 犯人からの電話に出ないための対策
 - (ア) 国際電話利用の詐欺被害に遭わないよう、国際電話不取扱申込を強く促進
 - (イ) 携帯電話への国際電話の着信を制限する「国際電話番号ブロックシステム」が導入された防犯アプリ「デジポリス」の普及促進
 - (ウ) 警視庁、台東区により提供される「自動通話録音機」の設置促進
 - イ 被害防止に向けた広報啓発活動の推進
 - (ア) 著名人と共に管内居住者宅に戸別訪問し、国際電話不取扱申込を促進
 - (イ) 管内テーマパークに親子2,000名を招き「地域安全の集い」を開催
 - (ウ) 管内公共施設にて台東区と連携した「生活安全のつどい」を開催
 - (エ) 著名人を一日警察署長として招き、防犯パレードを実施
 - (オ) アポ電を認知した際の「メールけいしちょう」の速やかな配信

- (3) 検挙対策
 ア 「だまされたふり作戦」などの現場設定による犯人検挙
 イ 実態把握強化月間をはじめとした日々の各種警察活動を通じた関連情報の収集
 ウ 被害発生時の早急な証拠収集と解析
- 2 協議会からの意見要望等
- (1) 新規マンション居住者は町会に加入する人が少ないため、町会の行事等で注意喚起をしても情報が行き届かない。携帯電話の操作に不慣れな高齢者にはメールの判別が難しく、防止対策ツールも浸透しない。このような人達にはチラシの回覧や街中の掲示板への掲示といった原始的な手法による注意喚起も有効ではないか。
- (2) 自動通話録音機等の対策は、身近な人が利用すると自分事として自分も使ってみようかという気になる。自分達の周りから徐々に利用を拡大させることが重要ではないか。
- (3) メールや電話だと被疑者と被害者の1対1のやりとりなので、ATM等での銀行員等の声掛けによる未然防止が難しい。自分で自分の身を守らないといけない。年寄りには「重要なお知らせ」等のメールに反応してカード番号等を入力してしまう。いったん他のサイト等で差出人を確認するといった具体的な対策の周知が必要だと思ふ。
- (4) 事業所にも「+」で始まる電話が頻繁にかかってきており、従業員にも対応しないようよく教養している。
- (5) 若者と高齢者が行動をともにしているような不自然な光景を見た際は注視し、金融機関に誘導するような状況があれば通報するような感覚も必要である。
- (6) 人気キャラクターのキャンペーン応募で個人情報を入力させるような、特定の者をターゲットにする手口等も警視庁のホームページや動画サイトで注意喚起してほしい。

[その他の意見要望等]

なし

その他

令和07年度 第2回 浅草警察署協議会 議事概要

開催日時 令和07年09月24日 午後04時00分～午後05時00分

開催場所 浅草警察署 講堂
出席者 協議会委員 8名
署長ほか 1名

内容

[業務説明]

- 1 拾得（遺失）物の取扱状況
 - (1) 取扱件数
拾得物は増加、遺失物と返還は減少（前年同期比）
 - (2) 取扱増減の要因
拾得物取扱いの増加は観光客の増加、遺失物取扱いの減少はオンラインによる電子申請の浸透、返還取扱いの減少は外国人が所有する海外製の調査不能物件の増加による。
- 2 交通人身事故の発生状況
 - (1) 発生件数
総数、死傷者数のいずれも減少（前年同期比）
 - (2) 関与率
自転車、高齢者の関与率が高く、関与率の増加が著しいのは自転車、外国人、タクシー、電動キックボード
- 3 各種警備実施結果
 - (1) 隅田川花火大会警備
関係機関との協議、現場実査、警備会社に対する事前教養、当日の機動隊との連携による臨機応変な警備措置により、事故なく完遂
 - (2) 浅草サンバカーニバル警備
休日の観光客、主演者関係者、撮影者等で賑わう中、機動隊と協力し無事に終了
- 4 管内治安の状況
 - (1) 地域警察活動
増加する110番通報への対応と検挙事例
 - (2) 犯罪情勢
 - ア 犯罪の認知と検挙
 - イ 詐欺被害対策
 - (ア) 手口と被害状況
電話での警察官かたり、アプリによるSNS型投資詐欺をはじめ、被害額は約2.9倍に大幅増加（前年同期比）
 - (イ) 被害防止対策
国際電話不取扱申込みの促進と家族、地域ぐるみでの防犯意識の向上

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
外国人の取扱状況について
 - (1) 浅草署管内における外国人犯罪の発生状況
 - ア 薬物事犯が増加しているが、外国人に限らず若者や若年層への浸潤をはじめ、国民全体として増加している。
 - イ 浅草署管内においてインバウンドあるいは定住外国人の増加による凶悪犯罪や粗暴犯の顕著な増加の傾向は現時点では認められない。
 - ウ 特定箇所にい集し、コミュニティ化が進んだ場合、治安悪化につながる懸念もあることから、引き続き不法外国人の巢窟的な場所等の関連情報を収集し、あらゆる法制を駆使して不法外国人を摘発し、治安維持に努めていく。
 - (2) その他の外国人の取扱状況
 - ア 遺失物の届出
届出件数は来訪、定住の増加に比例して増加していることから、業務用翻訳アプリや指定通訳員、端末システム内配備の多言語関係書類等を積極的に活用
 - イ 相談対応

生活相談では言葉や文化の違いによる意思疎通、道理説明に苦慮し、事件相談では国際的なクレジットカード、インターネット上のトラブル等、国際化、巧妙化、ボーダレス化が進行し、捜査手法も複雑化している。

ウ 保護扱い

外国人総数の増加に比例する形で泥酔者、酩酊者の保護取扱件数は増加している。また、インバウンドの影響で観光中に迷い人として保護される件数も増加している。

(3) 外国人対応に向けた警視庁及び浅草署の取組

ア レイシャルプロファイリング防止対策

イ 翻訳ツールの配備

ウ 多言語による情報発信

エ 不法外国人、不良外国人の摘発検挙

オ 住民の不安を理解した親身な対応

2 協議会からの意見要望等

(1) 最近では外国人犯罪集団に対する凶悪なイメージはないが、一部、得体の知れない特殊な人たちがいる。差別はよくないが、理解に苦しむ点も多く、外国人が学校や職場等の日常に広く浸透してきたことによるトラブルの対応に苦慮している。

(2) 浅草は浅草駅が羽田空港、成田空港と直結し、日本観光の玄関的な位置づけでもあることから、入国後、観光客同士で密着して夢中で見物している状況で他の外国人からすり被害に遭ったり、帰国直前の観光客が店舗の陳列物を持ち去ったり、無銭飲食をしたりした後、そのまま帰国して足取りが分からなくなることが発生している。

(3) 浅草は古い土地も多く、空き地化が進んでいる。建築計画までは日本人が行い、そこから外国の管理会社に高額で転売して建築させ、管理させる建替ビジネスが激増している。管理人が不透明化する状況で無許可で一部民泊経営を行ったり、共用部での飲酒、い集騒ぎ等、他の居住者や近隣住民への脅威となる懸念もある。

(4) 日頃から制服やパトカーでよく巡回している姿を見かけるが、これまで以上に声掛けを増やしてもらえるとより安心感が増す。

(5) 外国人との倫理観の違いに根ざす問題も多く、民事的なトラブルが多いと思料されるが、その中で法的に警察として介入できるところがあれば積極的に介入して治安維持に努めてもらいたい。

(6) レイシャルプロファイリングを避けつつ、徹底した公正さと毅然さを武器に積極的に職務質問をし、日本の治安維持体制の強固さをアピールしてほしい。

[その他の意見要望等]

なし

その他

令和07年度 第1回 浅草警察署協議会 議事概要

開催日時 令和07年06月24日 午後03時00分～午後04時10分

開催場所 浅草警察署 講堂
出席者 協議会委員 9名
署長ほか 1名

内容

会議に先立ち、会長、副会長を互選した。

[業務説明]

- 1 拾得（遺失）物の取扱状況について
コロナ渦の行動制限が撤廃された令和5年以降、取扱件数の総数及び外国人による遺失物の取扱件数ともに継続的に増加している。
- 2 交通事故防止対策について
 - (1) 各種取締りの強化
自転車や高齢者が関与する事故が多発していることを受け、広報啓発活動と幹線道路における取締りを強化
 - (2) 取締管理計画・駐車監視員活動ガイドライン等の見直し検討結果
検討の結果、上半期と同様に策定し、取締りを推進
- 3 警備実施結果について
 - (1) 祭礼に伴う警備実施
ア 浅草寺本尊示現会
イ 石濱神社御鎮座1, 300年舟渡御祭神輿渡御
 - (2) 自主警備員と連携した部隊活動
ア 来場した観衆への配慮と適切な広報活動、整理誘導の両立
イ 関係機関との連携による弾力的な部隊運用
- 4 110番入電状況
 - (ア) 交通関係をはじめ、泥酔者、傷病人、迷い人、不審者、けんか口論、事件関係と総じて入電件数が増加している。
 - (イ) 緊急性のない通報が増加している。
- 5 犯罪の発生状況について
 - (1) 管内の犯罪情勢
ア 犯罪認知・検挙件数
イ 強行犯、盗犯、国際犯罪、暴力団犯罪、薬物事犯の検挙状況
 - (2) 各種詐欺被害防止対策
特殊詐欺被害防止プロジェクトチームの特別防犯対策監の杉良太郎氏を招き、戸別訪問と報道対応による「国際電話利用休止手続き」の広報啓発を実施

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
三社祭警備について
 - (1) 当署の取組
ア 警備体制
(ア) 地下鉄出入口付近の滞留に起因した階段、地下道、ホーム上での群衆雪崩の発生を回避するため、浅草駅出入口付近で広報を行うほか、全面通行止めの雷門通りの車道の両端に見学エリアを設けることにより、群衆を車道に下ろし、歩道の通行を確保した。
(イ) 機動隊の応援を得て、道路いっぱいには広がろうとする本社神輿の見物人等を巧みに制御して交通規制内に収めながら、反対側車線を使用した相互通行を確保した。
イ 関係機関との連携
(ア) 最大の懸案事項である雑踏事故防止について、警備課・交通課を中心に早い段階から浅草神社、奉賛会、氏子などの関係者と協議を繰り返し、各行列や神輿ルート等に関する禁止事項を遵守させるための申入れ等を積極的に行った。
(イ) 各町会に対し警備要員として署員を派遣し、町会の関係役員や警備担当者に事故防止に向けた申入れや指導を行い、警戒に当たった。

(ウ) 交通管理者である警察として周囲の一般交通に与える影響を最小限に食い止めるため、関係者側と粘り強く調整するとともに、主要基幹道路においては片側の交通規制の範囲内で見物人等の膨らみを収めるよう指導を徹底した。

(2) 実施結果

警備部門と交通部門との連携による大規模交通規制のほか、反社会的勢力による違法行為の根絶に向けて本部関係部署と連携した事前対策や検挙体制により、不法行為による逮捕事案等の発生を抑止した。

2 協議会からの意見要望等

(1) 祭礼の現状

ア 一部の品位のない神輿の担ぎ手の集団等が動画配信されて三社祭のイメージが悪くなっていることは不本意である。

イ 三社祭がにわか荒くれ者の祭りという誤った認識を持たれ、ひいてはそれが浅草全体のイメージにつながりかねない。

ウ 地区によって安全安心の温度差が激しい。綿密な努力をしている同好会が迷惑を被るような祭礼であってはならない。

エ 警察の巧みな警備により宮入りが自由かつ安全に行われたことに感謝する。

(2) 今後の対策

ア 交通規制と都営バスの運行の重複がきわどい場面もあるため、今後も主催側と規制側とのさらなる連携が必要である。

イ 駅周辺に体格が大きい外国人観光客の群衆ができており、他の通行人にとって危険であるため、規制の方法を工夫する必要がある。

ウ 各種交通規制について前例と変更する場合は、変更に伴う影響等を綿密に想定した上で主催側と警察とが規制プランを立てる必要がある。

エ マンション建設ラッシュに伴い、祭礼の作法を知らない新規の外国人居住者等が増加しているため、祭りの現場に新たな混乱が生じている。

オ 町会神輿は子供神輿と成人神輿で列の長短の差が激しいため、同じ人数の警察官を一律に配置するのではなく、調整したほうがよい。

[その他の意見要望等]

なし

その他

令和06年度 第4回 浅草警察署協議会 議事概要

開催日時 令和07年03月25日 午後04時00分～午後05時10分

開催場所 浅草警察署 講堂
出席者 協議会委員 9名
署長ほか 1名

内 容

[業務説明]

- 1 拾得（遺失）物の取扱状況
 - (1) 取扱件数
拾得、遺失、返還のいずれも増加（前年同期比）
 - (2) 取扱増加の要因
国内および来日外国人観光客の増加
- 2 交通人身事故の発生状況
 - (1) 発生件数
総数、死傷者数のいずれも減少（前年同期比）
 - (2) 関与率
自転車の関与率が約半数を占め、高齢者、貨物車、特定小型原動機付自転車が増加した。
- 3 各種警備実施結果
 - (1) 浅草寺初詣警備
多数の参拝客や買物客が訪れて、令和最多の人出となった。
 - (2) 浅草寺節分会警備
悪天候の影響で文化芸能人が参加する行事が中止となり、前年の8割程度の人出となった。
 - (3) 東京マラソン2025警備
雷門通りの観覧区域以外の沿道にも観衆が集まり、前年以上の人出となったが、機動隊の応援を得て、不法事案や雑踏事故もなく、無事に警備を完遂した。
- 4 管内治安の状況
 - (1) 地域警察活動
緊急でない場合の通報手段として警察相談ダイヤル（9110）の広報
 - (2) 犯罪情勢
 - ア 犯罪の認知と検挙
 - イ 特殊詐欺対策
 - (ア) 新たな手口
実在する警察署の電話番号を表示させ、警察官をかたる手口
 - (イ) 被害防止対策
 - ・ 警告機能付自動通話録音機の普及促進
 - ・ 国際電話不取扱受付センターの利用促進

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
マイナンバーカードと運転免許証の一体化
 - (1) 一体化した場合の留意点
 - ア 一体化した運転免許証の内容確認は読取用アプリが必要となる。
 - イ マイナンバーカードと運転免許証の有効期限をそれぞれ把握する必要がある。
 - (2) 警察署窓口での取組
 - ア 免許事務窓口の交通課員を増員し、来訪者の対応の円滑化を図る。
 - イ 総務省や警視庁が発行する広報資料を活用して説明する。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 - (1) マイナ免許証は外観から有効期限やゴールド免許の識別ができないため、被雇用者の免許証を確認する事業主の立場からすれば不便であるが、偽造、変造等のごまかしができなくなるのは利点である。
 - (2) 運転免許証は常時携帯しており、マイナンバーカードは通院時のみ携帯していたため、一本化した際は意識を変える必要がある。

- (3) 浅草は地元で働く高齢者が多いため、窓口対応の警察官から新制度について詳しく説明してもらう必要がある。引き続き、窓口の体制を手厚くしてもらいたい。
- (4) マイナ免許証の新しい制度の運用に伴い「新たに手続きや構造の仕組みを悪用した犯罪が行われる可能性がある」という視点も必要である。

[その他の意見要望等]

なし

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和06年度 第3回 浅草警察署協議会 議事概要

開催日時 令和06年12月19日 午後04時00分～午後05時10分

開催場所	浅草警察署 講堂	出席者	協議会委員 9名 署長ほか 1名
------	----------	-----	---------------------

内容

[業務説明]

- 1 拾得（遺失）物の取扱状況
 - (1) 取扱件数
拾得、遺失、返還のいずれも増加（前年同期比）
 - (2) 取扱増加の要因
 - ア 来日外国人観光客の増加
 - イ 修学旅行、秋の行楽シーズンの旅行者増加
- 2 交通事故の発生状況
 - (1) 事故の傾向
 - ア 観光客増加に伴い商品搬入が増え、貨物車の関与する事故が増加
 - イ 自転車利用者、65歳以上の高齢者の関与する事故が増加
 - ウ 特定小型原付自転車（電動キックボード）の事故が増加
 - (2) 死亡事故の発生（8月2件）
 - ア 貨物車と自転車を運転する高齢者の事故（8月8日）
 - イ 貨物車と歩行者の事故（8月30日）
 - ウ 2件ともに上記（1）の傾向に合致
- 3 西の市警備実施結果
 - (1) 今年の祭礼
「三の酉」まで3日間開催され、参拝者の合計は令和で最多
 - (2) 警備中の取扱い
 - ア 28件（けんか・口論、迷子、傷病人、交通連絡、拾得物・遺失物等）
 - イ 窃盗1件（熊手の返納所から熊手を窃取）
- 4 管内治安の状況
 - (1) 地域警察活動
人流増加に伴い110番受理件数が増加（昨年同期比）
 - (2) 犯罪情勢
 - ア 犯罪の認知と検挙
 - イ 特殊詐欺について
 - (ア) 被害の状況
10月中に3件の被害発生
 - (イ) 被害3件の内訳
キャッシュカード手交、コンビニATMから振込、ネットバンクから振込
 - (ウ) 詐欺被害防止対策
 - ・ キャンペーンやイベント、各種防犯講話等を通じた広報啓発
 - ・ 家族、地域、街ぐるみでの防犯意識向上

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
 - 闇バイト対策
 - (1) 闇バイトの勧誘手口
 - ア 入り口は「X（旧・ツイッター）」等のSNS
 - イ 具体的な仕事内容がよく分からない求人
 - ウ 誰でもできる（簡単）、高額報酬、ホワイト案件（安全）等の誘い文句
 - エ 免許証、パスポート等の写真入りの身分証明書を要求
 - オ 秘匿性の高いアプリへの誘導
 - (2) 被害防止に向けた広報啓発活動
 - ア 台東区及び台東4署による「生活安全のつどい」
 - イ 商店街と連携した特殊詐欺等被害防止キャンペーン
 - ウ 新聞折り込みチラシによる注意喚起
 - エ 警察官、防犯抑止アドバイザーによる戸別訪問
 - オ 高校生に対する防犯講話

- (3) 水際対策
 - ア 刑事組織犯罪対策課と生活安全課が連携した相談受理
 - イ 点検商法等の悪質業者への迅速な臨場と警告措置
 - ウ 闇バイト応募者、個人情報伝えてしまった当事者の保護対策
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 - (1) 闇バイトの現状について
 - ア テレビをあまり見ない若者は、闇バイトに関する注意喚起の情報に触れることが少ないと思う。
 - イ 若者に限らず、高齢者、若い母親等、老若男女問わず、目先の高額報酬につられて安易に闇バイトへ手を出している現状が報道されていた。
 - ウ 闇バイトというネーミングは響きが軽いため、強盗や殺人に加担させられた上「捨て駒」にされる恐ろしさが認識されていない。
 - エ 警察に通報、相談した後の措置や対応が分からず心配で、警察に言い出しづらいのではないか。
 - (2) 今後の対策について
 - ア 闇バイトに対する注意を喚起する広報啓発活動の強化が必要だ。
 - イ 警察だけに任せることなく、協議会委員としても、親子や家庭内で闇バイトについて話し合ってもらえるよう、地域活動等を通じて注意喚起していきたい。
 - ウ 協議会委員として、相談しやすい地域の環境作りに尽力していきたい。

[その他の意見要望等]

なし

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和06年度 第2回 浅草警察署協議会 議事概要

開催日時 令和06年09月26日 午後04時00分～午後05時10分

開催場所	浅草警察署 講堂	出席者	協議会委員 9名 署長ほか 1名
------	----------	-----	---------------------

内 容

[業務説明]

- 1 拾得（遺失）物の取扱状況
 - (1) 前年同期と比較して、拾得、遺失、返還のいずれも取扱件数が増加
 - (2) 来日外国人観光客の増加も要因
- 2 交通事故の発生状況
 - (1) 事故関与率の傾向
 - ア 観光客増加に伴う商品搬入増加により貨物車の関与する事故が著しく増加
 - イ 65歳以上の高齢者、自転車利用者の関与する事故も増加
 - (2) 死亡事故の発生
 - ア 8月中に2件発生
 - (ア) 自転車（高齢者の運転）と貨物車の事故（8月8日）
 - (イ) 歩行者と貨物車の事故（8月30日）
 - イ 事故の要因
 貨物車、自転車、高齢者と上記（1）の傾向に全て該当
- 3 隅田川花火に伴う警備実施結果
 - (1) 花火の火薬の燃えかすに起因する小規模な火災が発生したが実害なし
 - (2) 猛暑やパリ五輪開催の影響か、来場者は昨年より減少
- 4 管内治安の状況
 - (1) 地域警察活動
 人流増加に伴い、110番受理件数が昨年同期と比較して増加
 - (2) 犯罪情勢
 - ア 犯罪認知件数と検挙件数
 - イ 強行犯、暴力団関係、不良外国人の取扱状況
 - (3) 各種詐欺被害防止対策
 SNS型投資詐欺・ロマンス詐欺等の被害に遭わないための方策

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
 外国人犯罪対策
 - (1) 情勢・傾向
 - ア 外国人観光客増加の影響
 警察の肌感覚では、外国人に関する取扱いが特段増えた実感はない。
 - イ 罪種別の発生傾向
 出入国管理法違反、薬物事犯等の特別法犯が増加
 - ウ 国籍別の検挙状況
 (ア) 全国的にタイ、ベトナムが大幅に増え、中国は緩やかに増加
 (イ) ベトナムが中国に代わって検挙件数最多
 (ウ) 都内ではウズベキスタンも激増
 - エ 浅草管内の情勢
 (ア) 全検挙の約2割が外国人で、うち約6割がベトナム人
 (イ) 外国人検挙の約4割が出入国管理法違反
 (ウ) 国籍によって、特別法犯又は粗暴犯が多い傾向に分かれる。
 - (2) 主な摘発・検挙
 - ア ベトナム人専用クラブ店（薬物事犯）
 - イ 解体業者（不法就労助長）
 - ウ 端緒から検挙まで
 (ア) いずれも地域課員の取扱いが端緒
 店舗付近に不審者との110番通報、外国人の傷病に関する取扱い
 (イ) 現場での事情聴取や不審点説明から、突き上げ、内偵等の捜査を経て、体制を組んで摘発
 - (3) レイシャルプロファイリング防止の徹底

- ア 公平かつ公正な職務執行
外国人の検挙が目立つものの、取扱いの際は偏見を排して公平かつ公正な職務執行を徹底している。
- イ 職務質問上の留意点
あくまでも客観的に、周囲との合理性から不審と判断した点について、徹底的な追及と説明を実施する。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 - (1) 管内の現状について
 - ア 飲食業界は人手不足が深刻で外国人雇用が不可欠であるため、組合主催の勉強会に参加し、雇用上の留意点について専門家の指導を受けている。
 - イ 浅草の路上で外国人男性が日本人女性に声を掛け、付いて回る姿をよく見掛けるので、ロマンス詐欺が身近な生活圏内にも及んでいる実感がある。
 - ウ 刃物も販売しているので、ふざけて商品の刀を振り回す外国人には警戒しているが、そこに薬物が関与するとなおさら不安になる。
 - エ 浅草界限にあふれる外国人の様相に、昼間は観光客、夜間は薬物使用者という変化があるならば怖いことだ。
 - (2) 今後の対策について
 - ア 浅草の持つ「盛り場」という特徴が悪用されている結果が、薬物事犯の増加ではないか。「入り口」である出入国管理法違反の取締りを強化してほしい。
 - イ 外国人が身近な存在になって、コミュニケーションを入口とした犯罪の発生も肌で感じられるため、町会等で防犯カメラを増やして抑止力を高めたい。
 - ウ 差別や偏見を忌避するあまり職務質問が消極的にならないよう、市民の正しい理解が必要だ。協議会として、警察官の職務執行力低下を防ぐ役割を担いたい。

[その他の意見要望等]

なし

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和06年度 第1回 浅草警察署協議会 議事概要

開催日時 令和06年06月13日 午後04時00分～午後05時10分

開催場所	浅草警察署 講堂	出席者	協議会委員 8名 署長ほか 1名
------	----------	-----	---------------------

内 容

[業務説明]

- 1 拾得（遺失）物の取扱状況について
前年同期と比較して、都外からの観光客や来日外国人の増加に伴い、拾得、遺失、返還のいずれも取扱件数が増加
- 2 交通事故発生状況について
 - (1) 自転車の重傷事故発生を踏まえた対策
ア ヘルメット着用促進に向けた広報
イ 自転車の違反に対する指導取締りの強化
 - (2) 発生の顕著な傾向
ア 昨年同期との比較
貨物車の事故関与率が著しく増加
イ 発生増加の要因
インバウンド需要の増加で商品積み卸し用の貨物車の乗り入れが増加
- 3 警備実施結果について
 - (1) 祭礼に伴う警備実施
ア 石濱神社御鎮座1300年大祭
イ 玉姫稲荷神社例大祭
 - (2) 自主警備員と連携した部隊活動
ア 神輿渡御中の交通事故防止
イ 観衆の雑踏事故防止
- 4 地域警察活動状況について
 - (1) 110番通報
人流増加の影響により、昨年同期と比較して増加
 - (2) 特命班の成果
ア 本年2月「地域課特命班」発足
イ 薬物事犯、銃刀法違反等を連続して検挙
- 5 犯罪の発生状況について
 - (1) 管内の犯罪情勢
ア 犯罪認知件数と検挙件数
イ 強行犯、特殊詐欺の検挙状況
 - (2) 各種詐欺被害防止対策
リフォーム詐欺、点検詐欺等の被害に遭わないための方策

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
三社祭（浅草神社例大祭）警備実施結果について
 - (1) 浅草署管内の警備
ア 各種警備実施が年間400件に及ぶ。
イ 特に多いのが雑踏警備で、三社祭警備はその代表格
 - (2) 当署の取組
ア 関係団体との連携
長期にわたる奉賛会、浅草観光連盟、浅草寺等との協議
イ 警備方針の確立
(ア) 開かれた祭礼
神輿の担ぎ手の同好会の全面的な受け入れ
(イ) 反社会的勢力の徹底排除
自主警備、部隊体制の効果的運用に係る綿密な計画
 - (3) 実施結果
ア 警備の完遂
あらゆる状況を想定して機動隊の運用を増強した結果、大きなトラブルの発生なく警備を終了した。

- イ 反省と対策
警備実施上の細かな反省点を来年の警備に生かすとともに、反社会的勢力の動向を引き続き注視していく。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 - (1) 祭礼の現状
 - ア 祭礼を維持するためには、町会だけでは神輿の担ぎ手が足りず、各地の同好会の参加が必要であるところ、同好会ごとに、また、地元の各町会でも、協力度合いに温度差があり、現場の運用に苦慮することがある。
 - イ 従来からの「お祭り騒ぎ」を好む者に加えて、SNSの普及により観衆が祭りの過度な盛り上がりを期待する傾向がある。
 - ウ 祭礼の風情として、例大祭最後の「宮入り」では警備体制を縮小し、余韻ある情景に浸りたいとの要望もある。
 - エ 韓国・梨泰院の事故を受け、全町会が、幅員に際限がなく制御困難な幹線道路を避け、安全確保可能な道路をルートとして警察に許可申請するようになった。
 - (2) 今後の対策
 - ア 各町会がそれぞれの流儀で神輿担ぎや御酒所設営を行うため、個々に応じた道路使用状況の確認を行い、トラブル発生の防止策を講じる必要がある。
 - イ 担ぎ手が本社神輿に力づくで接近を試みる状況もあるので、提灯を維持して神輿を納める祭礼本来の目的を達成し、各種トラブル事案等を回避するためには、適切な警備体制が求められる。

[その他の意見要望等]

なし

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。